

2024年3月25日(月)

燈火 ～高校34期生、中学37期生の卒業を祝して～

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、5年ぶりに在校生・保護者・ご家族の皆様を本学講堂に迎え、17日(日)には高校34期生99名を、23日(土)には中学37期生100名の卒業証書授与式を行うことができました。式の最後に、ほぼ空席なく会場を埋め尽くした皆さんによる学園歌「この輝ける日々よ」(作詞:阿久悠 作曲:三木たかし)*の歌声は壮麗で心温まるものとなり、巣立って行く生徒たちにふさわしい饒はなむけとなりました。改めて、卒業生を祝福するとともに、関係の皆様へ感謝申し上げます。

さて、今年の2つの卒業式での式辞では、キーワードを「明かり light」とし、高校卒業式ではM. L. King jr. の有名な言葉 "**Darkness cannot drive out darkness; only light can do that.**"を、中学卒業式では和泉式部の歌「暗きより暗き道にぞ入りぬべき遙かに照らせ山はの端の月」を引用し、一人一人が「明かり」となるようにというメッセージを贈りました。正解のない時代、予測不可能と言われる現在、身近なことにだけでなく、困難に直面する世界の人々の問題解決に立ち向かうために、学問と真理の追究することこそが「明かり」であり、それに向かうためには「友愛」の精神が必要だという話をしました。

高校の卒業式では式後に、私から一人ずつ卒業証書と手作りの菓子セット(今年は桜餡のカップケーキと桜風味のクッキー2種)を手渡しました。その後、卒業生の手により、全教員のパフォーマンスを撮影したビデオの上映(約10分)があり、入学から今日に至るまでの思い出を振り返ることができました。制作の有志の皆さん、ありがとうございました。

なお、中学校卒業式は95%がそのまま附属高校に進学するため簡素したものとなっていますことを、ご理解ください。

追記：高校卒業に際して、株式会社伊藤園様より「お〜いお茶桜満開卒業式」企画に因み、卒業生・教職員全員にオリジナル商品「お〜いお茶」を頂戴しました。紙面にてご紹介し、御社並びにご担当の府中支店の皆様への御礼に代えさせていただきます。

